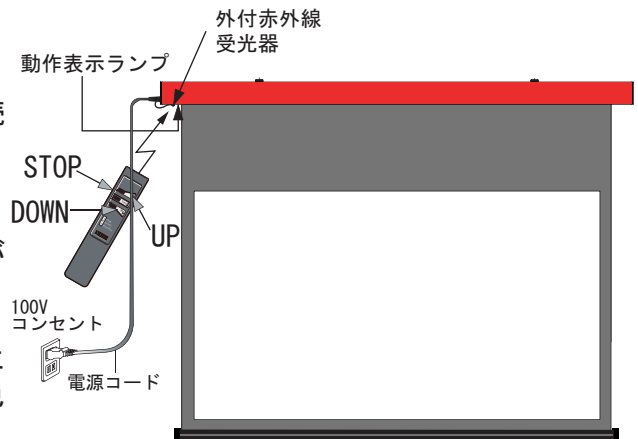


スクリーンの使い方

付属のリモコン送信機を使って操作します。

お使いになる前に

- ・ 外付赤外線受光器と本体コントロール部が接続されていることを確認してから電源コードをコンセントに差し込んでください。
- ・ リモコン送信機に乾電池(単4乾電池×2本)が入っているのか確認してください。
- ・ 電源コードを差し込んだあとに左ケース下面にある動作表示ランプ(3ページ、1-④)が赤色(スタンバイ表示)に点灯しているか確認してください。



※電源コードは、スクリーン専用品です。

1. リモコン送信機を受光部に向けて操作します。

- 1-1 スクリーンを使う時
リモコン送信機の「DOWN」ボタンを押してください。スクリーンが設定された位置まで自動的に下り停止します。
- 1-2 スクリーンを使い終わったら
リモコン送信機の「UP」ボタンを押してください。スクリーンが収納され自動的に停止します。
- 1-3 スクリーンを停止させる時
スクリーンを任意の位置で止める時や緊急に止めたい時は「STOP」ボタンを押してください。ボタンを押した位置で停止します。



動作中に、異常な音や臭いがする場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのACプラグを抜いてください。中止後はただちに取り扱い店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。

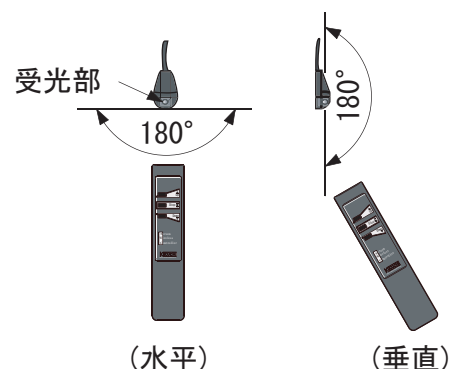


注意

- ・ スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- ・ スクリーンの停止位置を変える場合(15ページ)は、代理店、又は施工業者にご相談ください。
- ・ 長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのACプラグをコンセントから抜いておいてください。

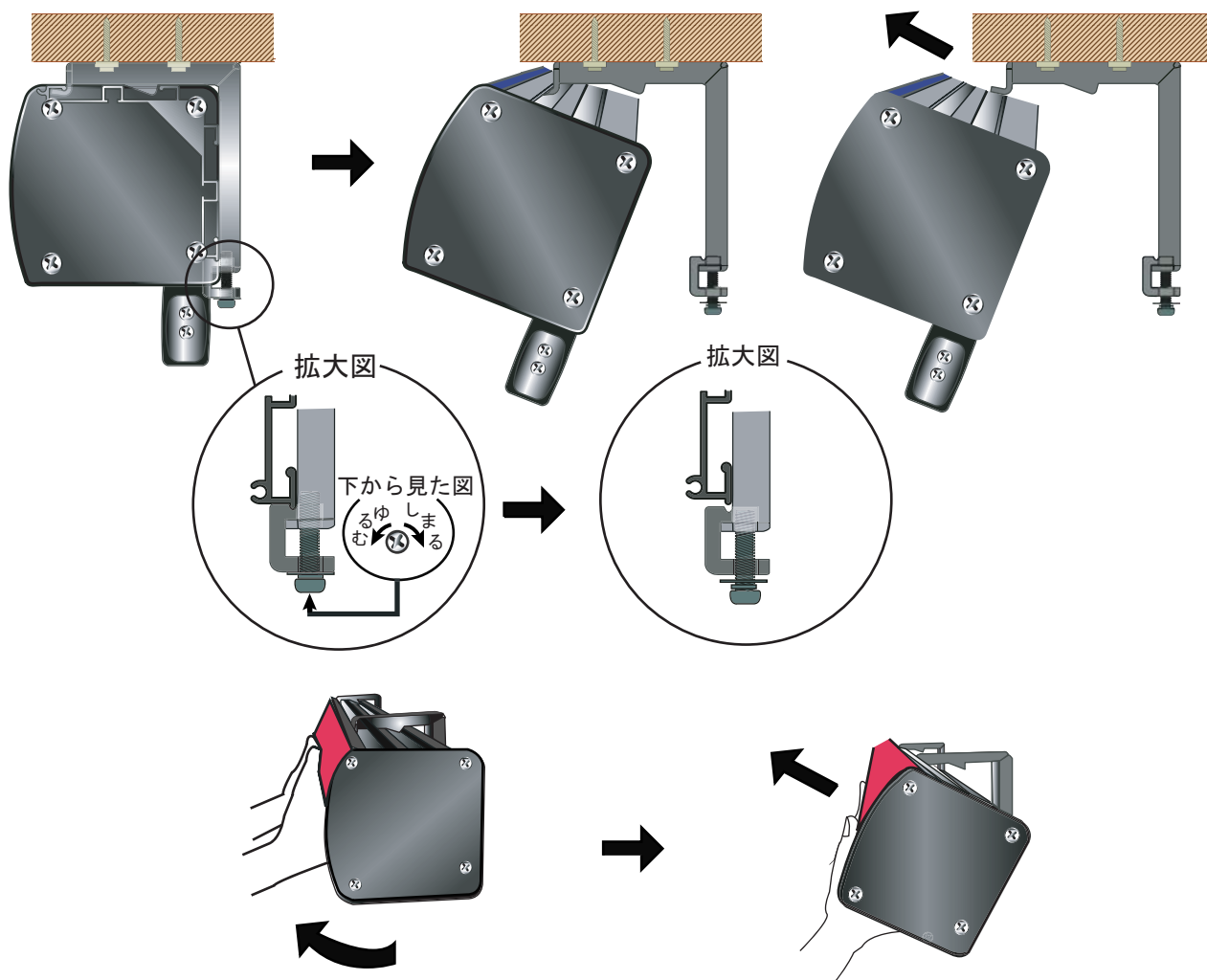
2. リモコンの操作範囲

リモコンの操作範囲は、受光部の中心に対して水平180°、垂直180°以内となっています。必ずこの範囲内にてご使用ください。これ以外の角度では動作しない場合があります。操作距離は最大で7mです。



スクリーン本体をとりはずす方法

セッティングブラケット⑨の固定用ネジ (M4×20mm) を+ドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタつくまでゆるめてください。リアケース⑧の背面の下部とフロントケース③をしっかり握り、手前に引いてブラケットストッパーからリアケース⑧の下面の突起をはずします。しっかりと待ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑧の天井面の前部の溝部をセッティングブラケット⑨の先端から抜きます。



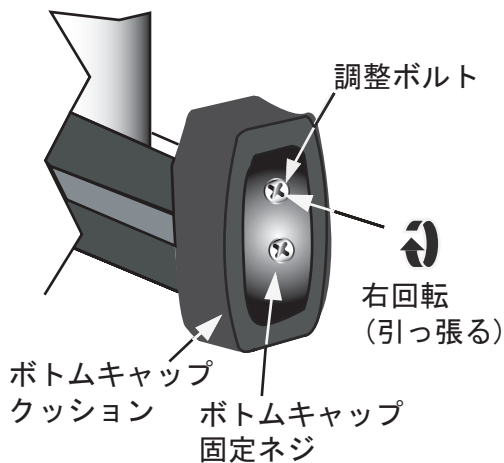
注意

- ・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取りはずす時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・ ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれた時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害の発生の恐れがあります。

スクリーンのテンションを調整する方法

スクリーン下面是、工場での出荷検査の時に平面調整(左右の調整ボルト共に約3回転)を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

1. 調整ボルトを+ドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを1回転させると約0.5mm外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大で0.5回転から1回転の間で調整を終らせてください。これ以上回転させた場合2項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。

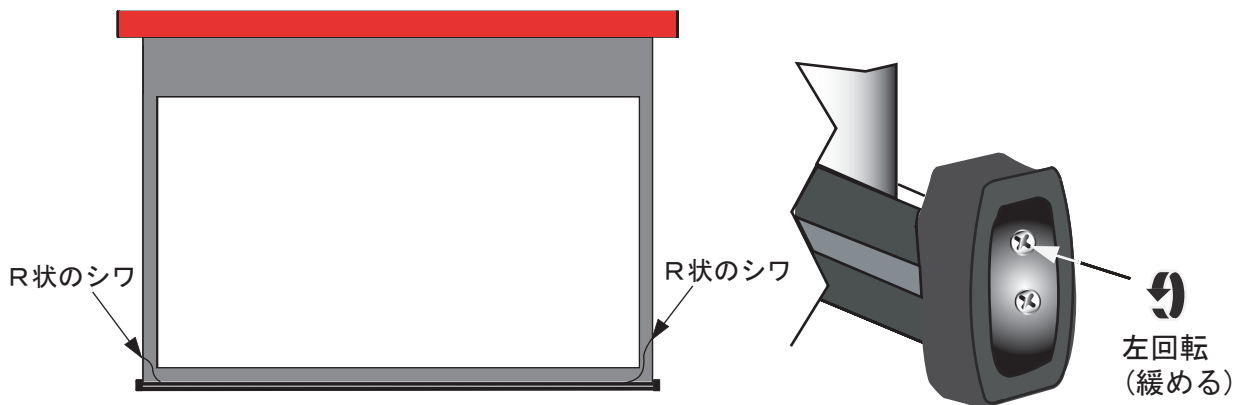


調整ボルトを回転させる時は必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねたりする恐れがあります。



調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の3回転を含めて左右共に4回転が限度です。

2. テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にR状のシワが発生する場合があります。この場合は、左回転させてR状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



注意

- ・ テンションを掛けすぎた時は、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め2~3日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。
- ・ シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。

電源や照明について

1. 電源 (AC100V)

電源 (AC100V) は、壁面のコンセントや天井にあらかじめ配線された単独の電源をご使用ください。



AV機器用の電源分配器 (パワーディストリビューター) での電源供給は、他の機器からの電源ノイズが回り込み、受信機の誤作動を発生させる場合がありますのでご使用にならないでください。

2. 照明

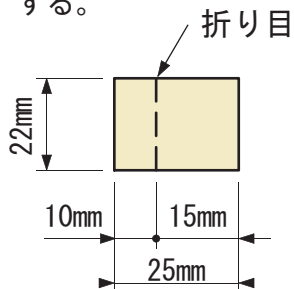
2-1. スクリーン本体を取り付けする場合は、天井の照明 (特にインバーター蛍光灯) から1m以上離してください。



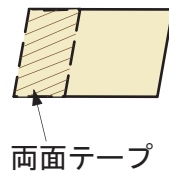
インバーター蛍光灯及びインバーター蛍光灯用本体機器のそば (1m以内) に設置した場合、インバーターから発生するノイズによって動作不能になる恐れがあります。

2-2. スペースの関係上1m以上の距離が取れずに取り付けする場合は、下記に指すような「遮へい板」を作って貼り付けしてください。

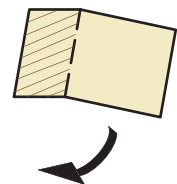
- ① ボール紙 (事務用) を下の寸法にカットする。



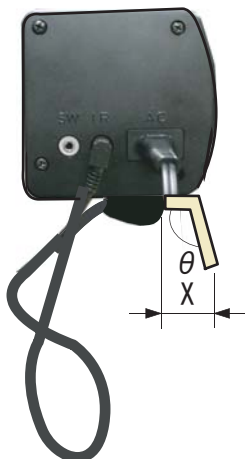
- ② 折り目の巾の狭い方に両面テープを貼り付ける。



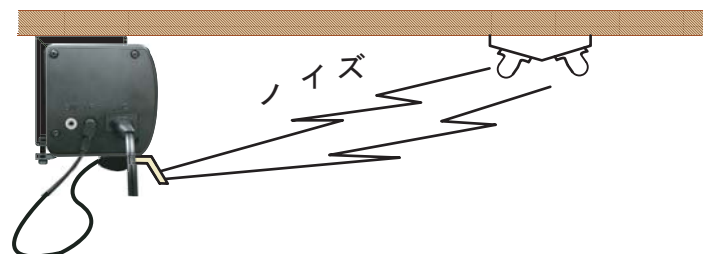
- ③ 折り目に沿ってある程度下へ折り曲げておく。



- ④ 受光器の前に貼り付けし角度を調整する。



$$\theta (\text{角度}) = 130 \sim 145^\circ$$
$$X = 20 \sim 23 \text{mm}$$



(イメージ図)



貼り付けの際に、受光器を完全におおわないでください。送信機からの信号を受光できなくなります。

スクリーンの停止位置を変える場合

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は約250mmに設定されていますが、(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(ハイビジョンタイプの80HDおよび120HDは最大500mmまで、100HDは最大400mmまで。NTSCタイプは全機種最大500mmまで。)

調整用ボリュームNO. 2は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。

調整用ボリュームNO. 2は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

調整用ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	-表示側

※マニュアルボタン

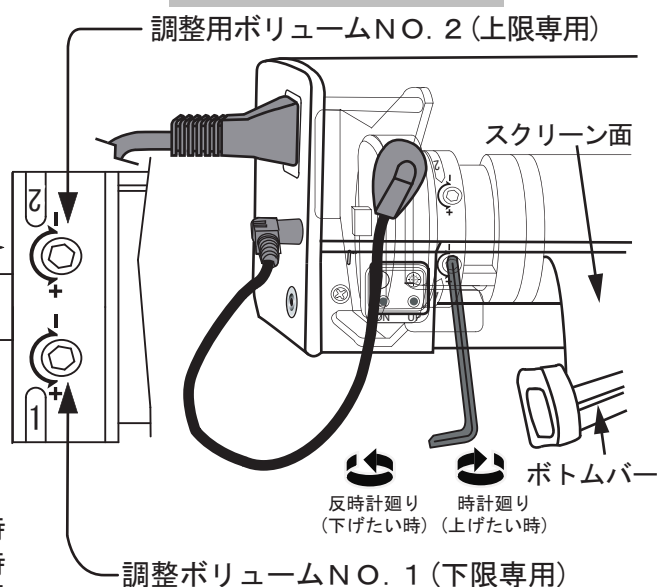
リモコンが使えない時(紛失又は電池切れ等)に「UP」・「DN」と書かれた穴のボタンを、押してください。

UP押し: スクリーンを上昇させる時

DN押し: スクリーンを降下させる時

UP・DN同時押し: スクリーンを停止させる時

左底面部(下から見た図)



スクリーン位置を下げたい場合

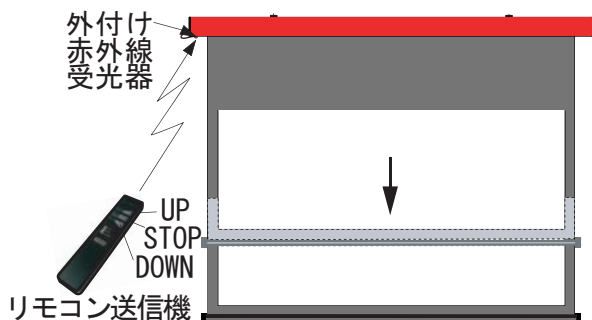
1. リモコンのボタンをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. リモコンのボタンはDOWNに入れたままにします。
3. 調整用ボリュームNO. 1を反時計廻り(+表示)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリュームNO. 1を時計廻り(-表示)に2~3回、回します。(1回転で約25mm上がります。)
2. リモコンのボタンをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
3. リモコンのボタンをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

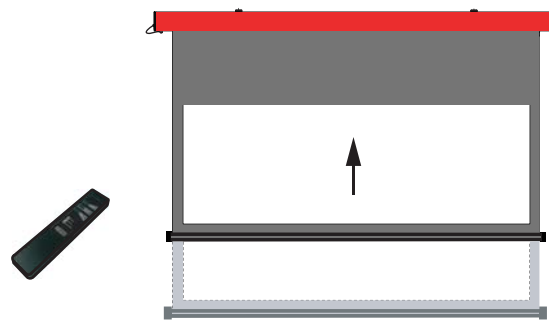
スクリーン位置が下がり過ぎた場合

「スクリーン位置を上げたい場合」を参照ください。



スクリーン位置が上がり過ぎた場合

「スクリーン位置を下げたい場合」を参照ください。



調整用ボリュームNO. 2はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

2分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが動きモーターは停止します。しばらく放置すると(15~20分)、サーマルスイッチが解除になります。(故障ではありません。)

トラブル時の対処

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。それでも修復できない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

① 本体コントロール部や外付赤外線受光器についての項目

症状	原因	対処
動作表示ランプが赤色（スタンバイ表示）に点灯してない。	本体コントロール部の電源コードが抜けている。	電源コードを正しく確実に差し込んでください。（10ページ）
	本体コントロール部と外付赤外線受光器が接続されていない。	一旦、本体コントロール部の電源コードを抜いてからミニピンジャックを確実に差し込んでください。その後に再度電源コードを差し込んでください。（10ページ）
動作表示ランプが変わらない。	外付赤外線受光器に直射日光が当たっている。	直射日光の当たらない場所に貼り付け位置を変更してください。（10ページ）
	外付赤外線受光器の近くにインバーター蛍光灯がある。	蛍光灯から1m以上はなすか点灯させないようにしてください。もしくは「遮へい板」を作成し、取り付けしてください。（14ページ）

② リモコン送信機についての項目

症状	原因	対処
リモコン送信機が機能しない。	リモコンに乾電池が入っていない。	⊕⊖の方向を確かめてから乾電池を入れてください。（4ページ）
	乾電池の寿命がきている。	新しい乾電池と交換してください。（4ページ）
	操作範囲をはずれて操作している。	決められた操作範囲の中で使用してください。（11ページ）

③ スクリーンの動作についての項目

症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	本体コントロール部の電源コードや外付赤外線受光器のコードが接続されていない。	①項の決められた手順に従っておのおのコードを接続してください。
	外付赤外線受光器に直射日光が当たったり、インバーター蛍光灯の近くにある。	①項の決められた手順に従って対処してください。
	リモコン送信機に問題がある。	②項の対処方法に従ってください。
	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	同上